**第２次大阪府食育推進計画の評価について**

**１　全体の目標達成状況の評価**

（１）評価結果について

　　第２次大阪府食育推進計画の１３指標・１５評価項目の各目標指標について、策定

時の現状値と直近値との比較を行い、その達成状況を３段階で評価を行いました。

指標の達成状況は表２のとおりとなり、１５評価項目のうち「A（達成）」は４項

目で、全体の26.7％でした。

また、「Ｂ（向上）」は６項目で、全体の40％となり、「A（達成）」を含めた項目

は10項目となり、全体の66.7％で改善が見られました。

改善が見られず、「Ｃ（横ばい又は減少）」となったのは５項目で、全体の33.3％

でした。

【表２－１：指標の達成状況】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価区分 | 判定基準 | 　全体 |
| Ａ（達成） | 目標達成 | ４項目（26.7％） |
| Ｂ（向上） | 直近値が計画策定時と比較して向上 | ６項目（40％） |
| Ｃ（横ばい又は減少） | 直近値が計画策定時と比較して横ばい又は減少 | ５項目（33.3％） |

【表２－２：各評価区分の指標】

|  |  |
| --- | --- |
| 評価区分 | 指　標 |
| Ａ（達成） | ・朝食欠食率（7～14歳）・朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数・食育推進に携わるボランティアの人数・食の安全性に関する基礎的な知識の普及（リスクコミュニケーションの開催） |
| Ｂ（向上） | ・栄養バランス等に配慮した食生活を送っている府民の割合・食育に関心を持っている府民の割合・よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心のある府民の割合・推進計画を作成・実施している市町村の割合・「食に関する指導」の推進体制が整備されている小・中学校の割合・「うちのお店も健康づくり応援団の店」協力店舗数 |
| Ｃ（横ばい又は減少） | ・朝食欠食率（高校生・大学生等）・野菜摂取量（7～14歳）・野菜摂取量（15～19歳）・メタボリックシンドロームの予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している府民の割合・大阪産（もん）の認知度の向上による地産地消の推進 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 目標指標 | 策定時の現状値 | 直近値 | データソース | 目標値 | 評価 |
| 栄養バランス等に配慮した食生活を送っている府民の割合 | 15.0％（H22年度） | 26.9%（H26年度） | 「食育」に関するアンケート | 60% | Ｂ |
| 朝食欠食率 | 7～14歳 | 7.4%（Ｈ19-21年平均） | 3.9%（H25-27年平均） | 国民健康・栄養調査 | 4%未満(最終目標0％) | Ａ |
| 全体 | 10.6%（H23年度） | 13.2%（H28年度） | 府事業アンケート | Ｃ |
| （高校生） | 5.9%（H23年度） | 8.5%（H28年度） |
| （大学生等） | 18.9%（H23年度） | 18.1%（H28年度） |
| 野菜摂取量（１日） | 7～14歳 | 227g（Ｈ19-21年平均） | 223g（H25-27年平均） | 国民健康・栄養調査 | 300ｇ | Ｃ |
| 15～19歳 | 253ｇ（Ｈ19-21年平均） | 216g（H25-27年平均） | 国民健康・栄養調査 | 350ｇ | Ｃ |
| 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数 | 週9.1回（H24年度） | 週10.7回（H27年度） | 策定時：「食育」と「お口の健康」に関するアンケート直近値：大阪版健康・栄養調査 | 週10回 | Ａ |
| メタボリックシンドロームの予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している府民の割合 | 29.5%（H24年度） | 22.4%（H28年度） | 策定時：「食育」と「お口の健康」に関するアンケート直近値：「お口の健康」と「食育」に関するアンケート | 50% | Ｃ |
| 食育に関心を持っている府民の割合 | 89.0%（H22年度） | 92.8%（H27年度） | 「食育」に関するアンケート | 95% | Ｂ |
| よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心のある府民の割合 | 58.0%（H24年度） | 59.9%（H28年度） | 策定時：「食育」と「お口の健康」に関するアンケート直近値：「お口の健康」と「食育」に関するアンケート | 80% | Ｂ |
| 食育推進に携わるボランティアの人数 | 4,849人（H22年度） | 5,466人（H27年度） | 大阪府食生活改善連絡協議会調べ大阪府保健医療室調べ（市町村報告数） | 5,300人 | Ａ |
| 食の安全性に関する基礎的な知識の普及（リスクコミュニケーションの開催） | 年2回（H22年度） | 年7回（H28年度） | 児童を対象としたリスクコミュニケーションの開催回数 | 年6回 | Ａ |
| 大阪産（もん）の認知度の向上による地産地消の推進 | 46.2%（H22年度） | 46.2％（H27年度） | 策定時オンリーワン都市調査直近値：将来ビジョン・大阪調査 | 60% | Ｃ |
| 推進計画を作成・実施している市町村の割合 | 44.0%（H23年度） | 87.8%（H28年度） | 大阪府保健医療室調べ（市町村報告数） | 100% | Ｂ |
| 「食に関する指導」の推進体制が整備されている小・中学校の割合 | 76.4%（H23年度） | 99.8%（H28年度） | 大阪府教育委員会調べ | 100% | Ｂ |
| 「うちのお店も健康づくり応援団の店」協力店舗数 | 10,232店舗（H23年度） | 12,473店舗（H28年度） | 大阪ヘルシー外食推進協議会調べ | 12,700店舗 | Ｂ |

【表２－３：各評価区分の指標】